

私の一冊

竹村牧男

「親鸞と一遍」

竹村牧男著（法藏館）〔中央図 188 .6 -Ta63〕



日本の中世という時代に、私はなぜか心ひかれてやまない。その時代は、無の深淵が口を開けた時代、虚無の底に降り立った時代であった。そして虚無の深さにはかりあえるような優れた芸術が産み出された時代でもあった。

もちろん、思想の世界でも、その深みが究められていった。たとえば、禅ではあの『正法眼蔵』を綴った道元がいる。「時すでにこれ有なり、有はみな時なり」と示す「有時」の巻など、無常の世をつきぬけて、雪裏の梅花の春の緊張を奏でている。

禅の世界ばかりでなく、浄土教の世界でも、その思想を時代の中で急進的に問いつめていった祖師方が出た。多分、法然があまりにも偉大であったから、異才ともいべき親鸞や一遍がその門流に出たのであろう。親鸞は信心による往生を説き、一遍は名号による成仏を説く。二人ともあますところなく自力無効の事理に徹底して、そこから簡明な凡夫の救いを語るのだった。

その背景には、果てしなく広大な仏教教学の研鑽があった。煩鎖を極めた述語の海を、簡潔、明快な安心に鍛えあげ、精練していく道すじは、一体どのようであったのだろうか。そこにはおそらく、

中世キリスト教の知の営みにも等しいほどの、宗教哲学があった。私はその一端にふれただけで、きっと今日にもなお深い意味をもつものがあるに違いないと思わずにはいられなかった。

親鸞と一遍、極楽世界への往生を説く浄土門にあって、二人はむしろ、自己を超えるものに願われているこの自己との出会いを語った。そのことを私は本書に描きたかった。さらにその実存が、現実世界とどのように関わるのか、見究めたかった。まだ尽きない点は、多々あることと思う。ともあれ、二人を対比しつつ扱うことによって、各々の特徴や日本人の霊性の一端を、やや明かすことは出来たかと思うのである。

（たけむら・まきお 哲学・思想学系教授）

茂呂雄二

「具体性のヴィゴツキー」

茂呂雄二著（金子書房）〔中央図 141 .5 -Mo75〕



L・S・ヴィゴツキー（1896 - 1934）の名前は心理、教育、言語研究者を除けば、大方には馴染のない名前であろう。この白ロシア生まれのユダヤ人心理学者は、革命の祝祭空間を駆け抜けて、その祭りの後に政治的非難にうちめされたまま37歳で結核で没したのだが、近年リバイバルといえるほどに出版や関連学会が相次いでいて、彼の思想の可能性を評価する声が高まっている。

ヴィゴツキーの著作は、日英独仏西伊葡語に翻訳されているが、それぞれの言語の地理的文化的背景に応じて解釈もさまざまである。たとえば昨年のデンマークの学会では、北米の研究者が文化的相対主義の旗印としてヴィゴツキーを取り上げるのに対して、南アフリカの研究者はむしろ融和や統合に教育がどのように寄与するのかを、彼のアイデアに探ろうとしていたという具合である。

さて、私はこの本で、ヴィゴツキーをヘーゲルやマルクスの具体性のアイデアの後継者とみなすという仮説を提案した。この仮説からは、素朴に実体視された心の営みではなく、むしろ日々のコミュニケーションを通して構成される心という

視角が開かれるのである。このアイデアを教室の相互行為や学習の問題に振り向けてみた。

古典は無色透明には理解されない。日本は世界に先駆けてヴィゴツキー心理学を翻訳し紹介した。この紹介も独特のバイアスをともなう理解であったはずだ。どのようなバイアスがあり、いかなる文化的歴史的背景が日本固有の解釈を作ったのかを問い直すべき時期がきていると思う。この問い直しと同時に、訓詁にとどまらないヴィゴツキー思想の活用に、私の具体性の解釈枠組が多少でも貢献することを願うばかりである。

(もろ・ゆうじ 心理学系助教授)

体操伝習所旧蔵書が語るもの

特別展「身体と遊戯へのまなざし

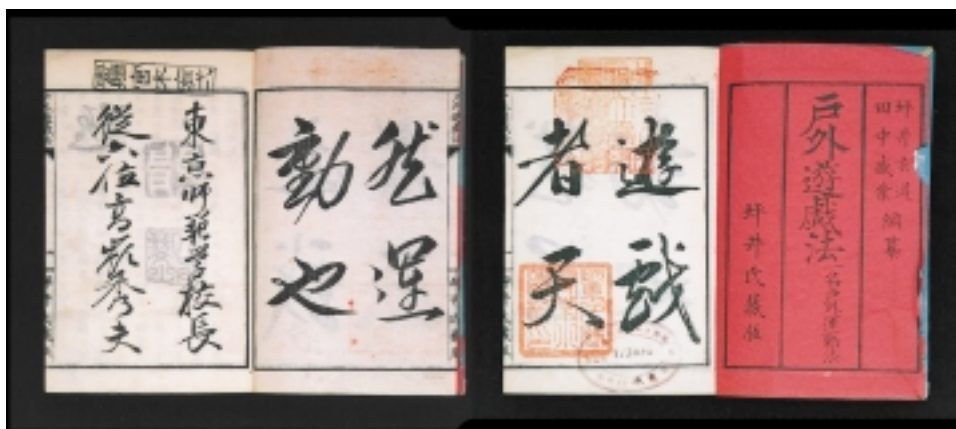
日本近代体育黎明期の体操伝習所（明治11年～19年）」

大熊 廣明

体育科学系と附属図書館の共催による特別展「身体と遊戯へのまなざし - 日本近代体育黎明期の体操伝習所（明治11年～19年）-」が、12月6日から17日まで中央図書館貴重書展示室で開催された。体操伝習所はわが国の学校体育の選定と学校体育教員養成のために、文部省が明治11年に設立した機関である。その後、明治18年に東京師範学

校の附属となり、翌19年、高等師範学校となった後、体操専修科が設置されると同時に廃止された。

体操伝習所は明治18年度の時点で、和書4,945冊、洋書582冊を所蔵していたことが、大場一義・元本学教授の研究で明らかにされている。これらの図書は体操伝習所の廃止に伴って高等師範学校の所蔵となり、その後、東京高等師範学校、東京



坪井玄道・田中盛業 編纂
『戶外遊戯法 - 名戶外運動法』